

国産SAF製造の取組みについて

2025.02.26

コスモ石油株式会社

1. 当社SAF取組みと展望

1

当社は**2030年に年間30万KL**のSAF供給を目標として取組んでいます

① 廃食用油原料のSAF事業(HEFA)【3万KL/年】

- ・ 2022年11月サファイアスカイエナジー設立
- ・ 2024年度内 装置完工 / 運転開始予定 *量産化 国内第1号案件

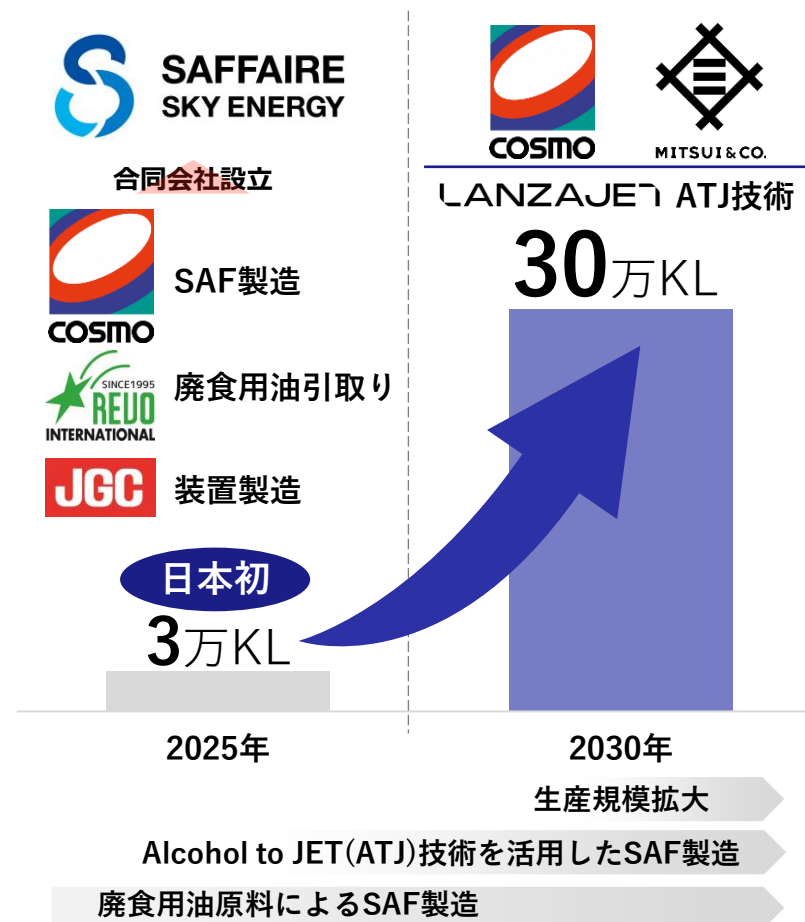
② バイオエタノール原料のSAF事業(ATJ)【15万KL/年】

- ・ 2022年7月三井物産様と共同でFS検討開始
- ・ 2025年2月经産省様によるSAF支援事業*に採択
- ・ 2029年以降にSAF製造装置完工 / 運転開始を目指す

*正式名称：持続可能な航空燃料（SAF）の製造・供給体制構築支援事業

③ 更なるSAF供給に向けた輸入検討【+α】

- ・ 2023年12月、タイ Bangchak社とSAF輸入のフレーム合意書締結、条件面協議中



2. 廃食用油原料のSAF事業（サプライチェーン概要）

2

以下2点において、本事業は**国内初のSAF製造事業**となります
①国内初の**SAF量産化**（年間約3万KL） ②国内初の**CEF認証***取得

*CEF認証：CORSA Eligible Fuel（CORSA適格燃料）の略で、ICAO（国際民間航空機関）が定めるGHG削減基準等を満たした航空燃料



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業

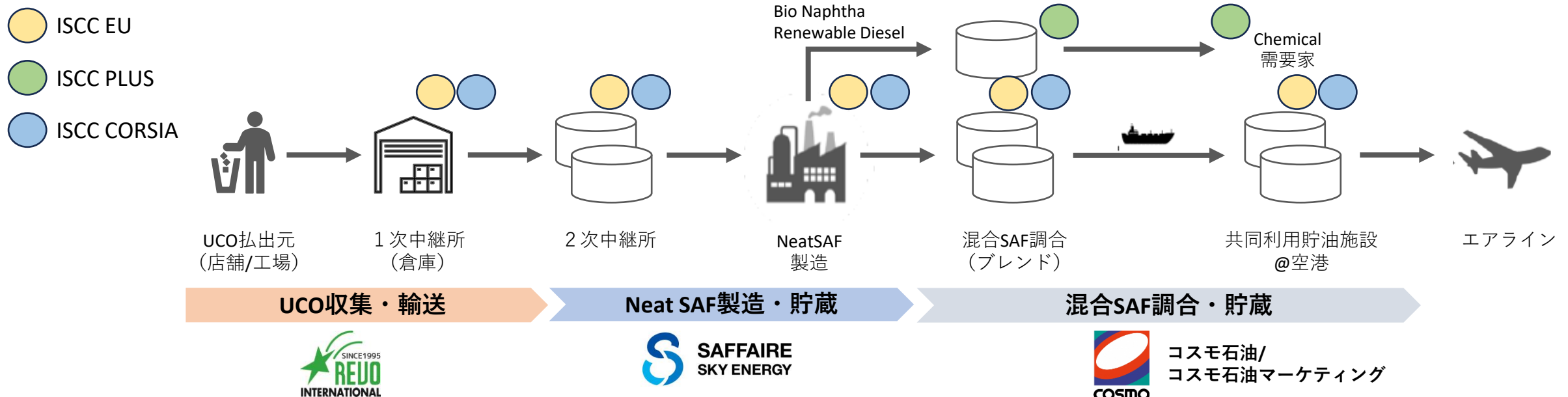
2. 廃食用油原料のSAF事業（国際認証取得）

3

- ✓ 2024年11月、各サプライチェーンにてISCC CORSIA/EU認証取得
- ✓ 原料調達→製造→需要家まで**全サプライチェーンでの取得は国内初**

<取得した認証概要>

ISCC認証取得会社/認証サイト	認証	認証製品	認証スコープ
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY/堺工場	ISCC EU、ISCC CORSIA	HEFA(SPK)、Bionaphtha	プロセッシングユニット
コスモ石油株式会社/本社	ISCC EU、ISCC CORSIA、ISCC PLUS	—	トレーダー／ストレージ
コスモ石油マーケティング株式会社/東京オフィス	ISCC EU、ISCC CORSIA	—	トレーダー



2. 廃食用油原料のSAF事業（足元の進捗）

4

- ✓ 2023年5月よりSAF装置建設を開始しました
- ✓ 2024年10月より廃食用油の搬入を開始しております
- ✓ 2024年12月に装置完工し、現在試運転を開始しております

2023年5月 当社堺製油所にて起工式開催



中谷経産副大臣(当時)、永藤堺市長、弓取NEDO理事らご来賓

2024年10月 廃食用油搬入開始



ウィング車によるIBCコンテナ搬入

2024年12月 SAF装置完工



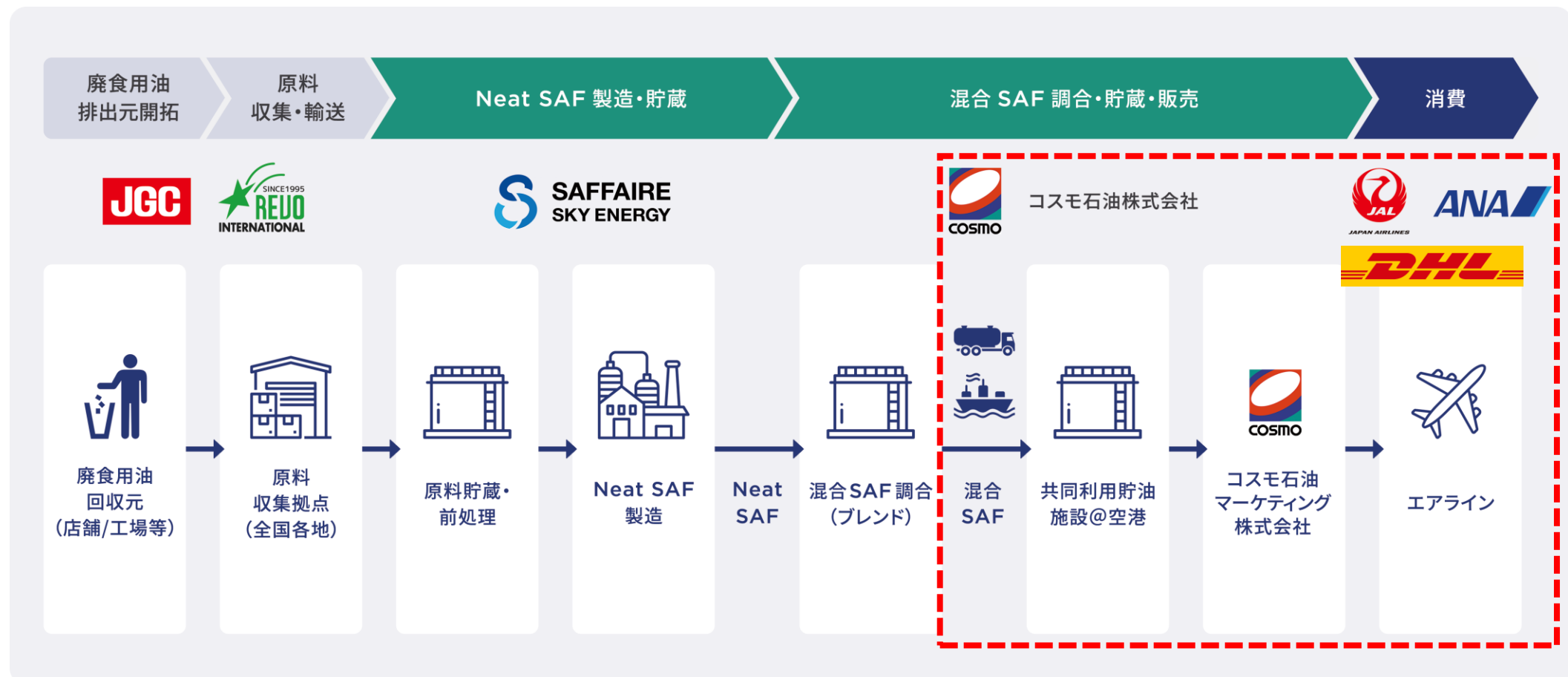
ニートSAF製造装置（左：加熱炉、中：蒸留塔）

今春本格生産開始予定（本年3月6日竣工式開催予定）

2. 廃食用油原料のSAF事業（エアライン様へのSAF販売）

5

- ✓ 2025年度より、本事業のSAFを国内エアライン（日本航空様、全日本空輸様）および海外エアライン（DHL Express様）へ供給します
- ✓ これにより、**日本初となる国産SAFサプライチェーンの構築が実現します**



2. 廃食用油原料のSAF事業（原料回収アプローチ）

6

事業最大の課題である廃食用油収集につき、**事業系・家庭系排出の双方**からアプローチ

事業系

- ・ **SAFFAIRE SKY ENERGY** への原料供給を大手排出元企業様との基本合意書締結を展開中です
→締結先企業：FOOD & LIFE COMPANIES様(スシロー等)/東京メトロ様(めとろ庵)/トリドール様(丸亀製麺等) 他多数

家庭系

- ・ **2024年3月より東京都主催イベント「東京 油で空飛ぶ大作戦～Tokyo Fry to Fly Project～」**を展開中です
→同年6月より都内の当社系列サービスステーション(SS)にて**市民回収実証開始**
- ・ **2024年11月に大阪府堺市との廃食用油資源化に向けた連携協定を締結しました**
→堺市内の当社系列サービスステーション(SS)にて**市民回収を計画**中

都内SSにおける廃食用油の市民回収実証（2024年6月～）



(←)セルフ&カーアステーション光が丘(練馬区)
(↑)廃食用油回収ボックス設置イメージ

堺市連携協定式での記念撮影（2024年11月）



具体取組として堺市内SSでの市民回収を計画！

(↑)左から左 インターナショナル越川代表取締役CEO、コスモ石油春井取締役常務執行役員(堺製油所長)、永藤堺市長、日揮ホールディングス秋鹿専務執行役員

日の丸SAFが持続可能な事業となるよう、原料調達ネットワークの強化やコスト競争力の強化といった重要課題には引き続き官民連携で取り組みながら、着実にプロジェクトを遂行いたします

SAF注目度の高まりから今般多くのメディアに取り上げられています



地下鉄デジタルサイネージ



TV取材風景

みんなで楽しく
脱炭素に取り組む



ガソリンスタンドでの廃食用油回収 (24年6月~)



TV取材風景

年間 約3万キロリットルの
SAFが製造される



国産SAF普及に向けた東京都連携イベント (24年3月)



大阪府堺市SAF連携協定イベント (24年11月)



TVCM



TVCM



Forbes JAPAN AWARD受賞 (24年8月)

